

■ブラジル：原子力プロジェクトに 65 億ドル超を投資、

2012 年 11 月 19 日の報道によると、ブラジル原子力産業協会（Aben）のクラモト会長は、同国の原子力産業は昨年の福島事故による悪い環境から完全に立ち直って、今後 10 年で原子力関係のプロジェクトへの投資が 65 億ドルを超えるだろう、との見通しを語った。同国は 2030 年までに少なくとも 4 つの新たな原子力発電設備を保有する予定で、プロジェクトが進行中のリオデジャネイロ州のアングラ 3 号機により同国の原子力発電設備は 2016 年までに 199 万 kW から 340 万 kW に増加する予定である。同氏は、「ブラジルでは、ウラン濃縮施設やウラン鉱生産などへの投資とともに、原子力潜水艦の建設プロジェクトも本格化している。事故は確かに衝撃的ではあったが、アナリストの予測よりもはるかに小さかった。」とコメントした。